

市政に対する

一般質問

今定例会では、14人の議員が12月2日、3日、4日に一般質問を行いました。質問の中から、主なものを質問者順に掲載します。

一般質問とは、議案と関係なく市の行政事務の状況や将来に対する方針などをたずねるもので、市側は、質問に対し基本的な考え方や問題解決策について答弁します。

宮澤大地議員

- 凶悪化する「闇バイト」について
- 適切なまちづくり・都市計画について

芦葉弘志議員

- 自転車安全運転について
- 犬のフン害対策について
- 医療的ケア児について

坂本達夫議員

- 中5丁目小公園（通称ワンワン公園）付近の水害について
- 幸手市庁舎整備構想（素案）について
- 東中学校区の小学校3校と中学校1校を一体的にとらえた義務教育学校について
- 空き店舗の活性化について

本田謡子議員

- 幸手市敬老会について
- 幸手市防災訓練について
- 幸手市文化祭について
- 市公式X（旧Twitter）などのSNSについて
- こどもの防災頭巾について
- 副市長の不在について

小林英雄議員

- 大規模プロジェクト4大事業について
- ごみ処理について

松田雅代議員

- 市街化区域の住宅地に流入する雨水対策の強化について
- 市の中長期重点プロジェクト事業及び収支予測の公表について
- 地区市民センター「地域づくり支援業務」運用の現状と今後の強化策について

四本奈緒美議員

- 带状疱疹ワクチンの定期接種化について
- 幸手市の地域公共交通の今後について
- 婚姻届の書き方の記入例について

大平泰二議員

- 学校給食の無償化について
- 学校統廃合について
- プール問題について
- 重点事業と財源について
- 市民要望について

青木章議員

- ふるさと納税について
- 幸手駅自由通路等について

藤沼貢議員

- 一般廃棄物処理施設の解体について
- ゆめファーム全農「施設園芸 トレーニングセンター」について

高野優一議員

- 防犯カメラ設置について
- 公契約について
- 圏央道幸手ICまでの東さくら通り検討路線について
- 給食費無償化について

小河原浩和議員

- 新設される義務教育学校について
- 国際化における共生社会の実現について
- 吉田幼稚園跡地利用の進捗状況について

小泉圭司議員

- カスタマーハラスメントに対する対応について
- 学校の統合準備について
- 学校に行かれない子供の家庭支援について

木村治夫議員

- 幸手駅東口・西口環境整備について
- 歴史・伝統文化の継承と活用について

12月定例会

傍聴者

29の方が傍聴されました。

議会インターネット中継のアクセス件数
インターネットを利用した議会中継（ライブ及び録画）を行っております。

10月

95件

11月

253件

12月

2,174件

の方が視聴されました。

議会ライブ配信・録画配信はコチラ



議会を傍聴しませんか

議会では日常生活にかかわる条例や事業の予算などを審議し、決定しています。ぜひ、傍聴にお出かけください。

12月定例会 会期日程

- 11月29日（本会議）
 - ・開会
 - ・会期の決定
 - ・報告事項
- 12月2日・3日・4日（本会議）
 - ・市長提出議案一括上程、提案理由説明
- 12月10日（本会議）
 - ・市政に対する一般質問
- 12月11日（委員会）
 - ・議案に対する質疑
 - ・議案の委員会付託
- 12月12日（委員会）
 - ・総務常任委員会
- 12月13日（委員会）
 - ・文教厚生常任委員会
- 12月20日（本会議）
 - ・建設経済常任委員会
- 12月20日（本会議）
 - ・委員長報告、質疑、討論、採決
 - ・閉会



あしばひろし 議員
芦葉弘志

犬のフン害対策

Q

イエローチョーク作戦は、犬のフン害をなくすことを目的とした取り組みで、放置されたフンの周りに黄色いチョークで円を描いて発見日時を書き込むことで、飼い主にフンの自主的な回収を促している。安く簡単な手法で大きな効果が出ると評判で、メディアに取り上げられると各地の自治体

A

市では犬の飼い主に対して、犬の登録時などに、犬のフンを放置しないように呼び掛ける啓発チラシを配布している。

(市民生活部長)

市では犬の飼い主に対して、犬の登録時などに、犬のフンを放置しないように呼び掛ける啓発チラシを配布している。

イエローチョーク作戦については、先進事例を研究し導入に向けて前向きに検討していく。



みやざわだい ち 議員
宮澤大地

凶悪化する「闇バイト」について

Q

多発する凶悪事件に関与する、いわゆる「闇バイト」に応募する若者が増えています。闇バイトの怖い点は、「いつの間にか犯罪の加害者になっている」ことです。高額報酬のアルバイトに申し込んでいたと思っていたら、犯罪の共犯者となり引き返せない状態になって

A

市での取り組みとして、啓発チラシや広報紙等への記事掲載による周知活動が挙げられます。今後は、SNS

への情報発信や幸手警察署と街頭広報等において、闇バイトは犯罪であること、大切な自分の未来を壊してしまうことなどを周知していきます。

(市民生活部長)

中5丁目小公園(ワンワン公園)内の調整池は



さかもと たつ お
坂本達夫議員

Q

今年の8月29日から30日までに降った大雨が原因でワンワン公園付近に洪水が発生した。この付近の市民にとって洪水は、一番の心配事である。この調整池は、当初、住宅地域内に降った雨水の調整池であったという。後に、その範囲が拡大され、周辺の田に降つ

A

た雨水もこの調整池に溜めるようになったという。いつ、どうい理由でその範囲を拡大することになったのか。また、その面積は、当初の何haから何haに拡大されたのか伺います。

平成11年度に実施した中5丁目地区浸水対策調査設計において、当該調整池は当初開発区域2・498haの区域の雨水処理施設でしたが、農地を含む周辺の17・772ha

の区域の雨水も流入してくるため、合わせて20・270haの区域としたものです。これに伴い、口径300mmの排水ポンプ2基を設置しています。

今まで水害対策として実施してきた大中落や中落の浚渫により、一定の効果が表れていると認識していますが、引き続き水害対策に努めてまいります。

(建設経済部長)

令和6年度幸手市敬老会の検証と今後は



ほん だ よう こ
本田謡子議員

Q

令和6年9月16日、幸手市敬老会は、午前の部と午後の部の2回に分けて開催されました。そして午後の部において、記念品である紅白饅頭が配布できないという問題が起きてしまいました。そこで、その原因と市での対応を伺う。

また、今後数年75歳以上の方が増えます。今後の見直しの時

A

期かと考えますが、市の見解を伺う。

記念品は3割程度の余裕を持たせて用意したものの、その受取りのみを希望される方が予想を大幅に超えてお見えになったとの事情はございますが、結果として不足が生じた原因は当方による見込みに甘さがあつたことに尽きようかと存じます。当日はこのような場合に備えて用意してあつた

記念品引換券を急遽、配付させていただきました。

今後の敬老会につきましては、会の開催趣旨や他の自治体の開催内容等にも鑑みながら、継続的な検討に努めてまいります。

(健康福祉部長)



まつだ まさよ
松田雅代議員

住宅地に流入する雨水対策の強化を

Q

大雨や台風による道路や住宅地の冠水・浸水は、近年の対策による成果を一定評価するが、なお、市民の生活・住宅資産の価値を守るレベルに至らない地域も残されており、早急な対応強化が求められる。特に、市街化調整区域から市街化区域の住宅地に越水・流入する雨水は幹線水路や排水ポ

A

近年においては雨の強さや降り方が変化してきている。今後の対応策については、浸水対策シミュレーション結果に基づくポンプ増設のほか、水路、準用河川の浚渫、水路改修等を進めてまいりたい。

(建設経済部長)

また、ゆめファーム全農事業地周辺の雨水排水計画については、JA全農において事業用地内の水田を掘削及び整地することとで、現況を上回る雨水貯留容量を確保するなど、周辺の道路や農地に影響を及ぼさない対策の実施に努める。



こばやし ひでお
小林英雄議員

ごみ処理施設の著しい老朽化への対応策は

Q

市の可燃ごみの処理は杉戸町へ委託、その他のごみ、し尿、浄化槽汚泥は、桜泉園で処理している。杉戸町の焼却施設、当市の粗大ごみ処理施設、し尿処理施設すべてが、稼働からかなりの年月が経ち、施設の寿命を大幅に超え、老朽化は深刻な状態である。また、最終処分場の埋め立て可能

A

ごみ処理については、自前で処理するだけでなく、民間処理や広域組合による処理を行う方法も考えられる。そのため、必ずしも今の処理方法でなければならぬというわけではない。

(市民生活部長)

しかしながら、処理方法を選択し、変更するためには、長期的な視野にたつて計画していく必要がある。

施設の長寿命化によって今後のごみ処理は安泰であるとは考えず、どのようなごみ処理方法が当市に最適なのか、検討を始めていきたい。

幸手市の婚姻届の書き方の記入例の改善を



よつもと な お み
四本奈緒美議員

Q

幸手市の婚姻届の書き方の記入例を見ると、夫側へ改姓する例しか記されていない。これは「姓は夫側に改姓するもの」というメッセージに捉えかねない。
ジェンダー平等、選択的夫婦別姓制度の推進のためにも、幸手市の婚姻届の書き方の記入例を改善するべきと考えるが、幸

A

婚姻届の書き方の「婚姻後の夫婦の氏」欄について、ジェンダー平等の観点から、記入例に「夫の氏」、「妻の氏」の両方を記載するように修正をする。
(市民生活部長)

手市の見解を伺う。



重点事業と財源について



おおひら たい じ
大平泰二議員

Q

桜泉園ごみ焼却場の施設解体工事（02年に稼働停止）、中央産業団地の拡幅、消防署の庁舎建設（令和11年度）、統合予定の東小中学校の義務教育学校建設、新庁舎建設等が予定されているが、それぞれの建設予定開始年度と駅西口土地区画整理を含めた年度毎の予算規模について伺う。

A

重点事業や財政収支の見通しについては、持続可能な財政運営を考えていく上で必要な資料であると考えている。
議員御指摘の事業のみでも、多額の財源が必要となり、財政収支の見通しは非常に厳しいものと予想する。

なお、資金計画等について、お示しできるものについては、来年の3月定例会にて議員の皆様にお示しする方向で調整中である。
(総合政策部長)





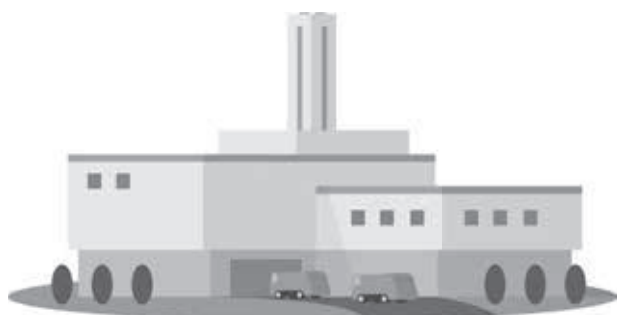
ふじぬま 藤沼
みつぐ 貢議員

一般廃棄物処理施設の解体について

A ごみ焼却施設の解体計画については、幸手市公共施設個別施設設計画において、令和10年度までを計画期間とする第1期中の解体・撤去を基本とし

Q ごみ処理施設が現状のままでは危険と思われるが、解体計画がどのようになっているのか伺う。

ており、期間内の実施について検討をしているところである。
しかしながら、施設解体には多額の費用がかかることから、具体的な解体計画策定には至っていないため、国庫補助金・地方債などの活用、跡地利用や将来的なごみ処理のあり方等、総合的な調査・研究を令和7年度より進めていきたい。（市民生活部長）



あおき 青木
あきら 章議員

幸手駅東西自由通路のイベント等について

Q 駅東西自由通路で、たくさんさんのイベントが行われてきました。特に「フラワーカーペット」、「クリスマスイベント」、「駅ピアノ」等が好評でした。今後、も街づくりのひとつとして、補助金を出してでも同様のイベントができるか。また、幸手市在住の漫画家「玖米」さんのアニメを使ったシテイプロモーションができるか。

A 幸手駅東西自由通路のイベントについては、スペースを有効活用し、各種団体と協働しながら行います。
幸手市在住の漫画家「玖米」とは、駅に限らず、どのような形でシテイプロモーションにご協力いただけるか、多角的に検討します。



画：玖米（クメ）
原作：鳴田るな（ナルタルナ）
キャラクター原案：鈴ノ助（スズノスケ）
出版社：双葉社
レーベル：モンスターコミックスf

自由通路北側壁面への看板の設置については、方法や安全性、費用など研究し、鉄道事業者にも確認しながら、設置の可能性を検討します。（総合政策部長）

東さくら通り延伸実現に向けて



こうの ゆういち
高野優一議員

Q

東さくら通りから圏央道幸手ICまでの区間について将来の都市像に向けて検討をされ15年以上経っています。幸手駅から真直ぐに道ができることで、幸手ICを中心に工業、商業、観光の発展に結びつくと考えます。幸手ICから羽田空港、成田空港まで約1時間であり、非常に大き

A

な可能性を持っています。財政状況は厳しいのは承知していますが、未来の幸手を考えると必要な道と考えますが幸手市の考えを伺います。

検討路線として位置づけられた当初（平成9年）は、人口増加に伴う市街化区域の拡大が議論されていました。

（建設経済部長）

に求められる役割も少なからず変化しているものと考えられます。

引続き、検討路線という位置づけですが、幸手駅と幸手ICを結ぶ路線として、電車利用者と、車利用者の親和性を考慮しながら、検討していきます。

新設される義務教育学校について



おがわ ひろかず
小河原浩和議員

Q

地域に愛され絆を深める教育活動を展開してきた東中学校区の3つの小学校が、東中学校を改築し9カ年を一貫した義務教育学校として始めようとしているが、市民のみならず隣の市・町からも通ってみたいと思うような夢や希望の持てる教育環境の施設整備を設置者で

A

ある市長の認識や決意を伺う。

残された3つの小学校跡地を今後どのようなしていくか、検討状況やスケジュールを伺う。

現在、準備委員会及び専門部会で再編に係る協議を進めており、今後、義務教育学校に必要な施設の整備を行うとともに、特色ある教育課程・教育活動が実践されるよう準備していく。

また、開校後も「地域の核」

としての役割を担えるよう、増築及び既存校舎の改修に必要な財源確保に努めながら、スピード感をもって取り組んでいく。

跡地活用については、関連計画や市民からの意見を踏まえ、他市町村の事例も参考に事業を進めていく。

（教育部長・総合政策部長）



き むらはる お
木村治夫議員

駅東・西口路上喫煙禁止区域と喫煙所設置は

Q

健康増進法が施行され、望まない受動喫煙を防止する取組みはマナーからルールへと変わった。地方公共団体の責務について、望まない受動喫煙が生じないよう防止する措置を総合的かつ効果的に推進するよう努める。とある、(1) 駅東・西口路上喫煙禁止区域に指定は。(2) (1) に伴う禁止区域

A

市では、現在のところ、路上喫煙禁止区域を指定するため条例を制定する考えはない。
今後、駅周辺における人出の増加やたばこのポイ捨て状況など

を勘案し、規制の必要性が高くなるような状況であれば、改めて検討したい。

また、現在のところ、喫煙所を設置する考えはないが、民間と協働啓発活動を行うことで、たばこのポイ捨てや歩きタバコなど、喫煙者のマナー向上に資するよう先進事例等の研究をしていく。

(市民生活部長)



こ いづみけい じ
小泉圭司議員

学校に行かれない子供の家庭支援

Q

不登校の小中学生が全国で34万人を超え増加し続けています。
学校に行かれない子供さんを持つご家庭に対して、親が仕事に行きづらくなった時のサポート方法はどのようなものがあり、相談窓口はどちらに行けばよいですか。

A

市ではウェルス幸手内に「家庭児童相談室」を設置し、児童福祉のご相談に幅広く応じております。ご質問のような場合には、ご家庭の状況等をお聞きしたうえで、利用可能な制度のご案内、あるいは継続的な相談支援を行っております。
また、経済的な面では、子どもの不登校をきっかけにして生活が困窮する可能性もありますが、そのような場合には、生活

困窮の相談窓口である「社会福祉協議会」のご利用につなげる等の支援も行っております。

(健康福祉部長)

